

町民と議会をむすぶ

# 町議会 だより

 池田町

VOL. 20

令和4年2月1日発行

## 【12月定例会】

議案審議及び施政方針 ..... 2～3

町政に問う 一般質問 3人が登壇 ..... 4～6

### 委員会審議

総務厚生常任委員会 ..... 7

文教経済常任委員会 ..... 8～9



## 賑わう！ 冬の新保



## 町長施政方針及び諸事の報告

### 「マイナンバーカード取得促進事業」

申請率70%を目標に取り組み、12月12日現在、1,832件、74.56%の申請となった。

### 「新型コロナワクチン3回目接種」

原則2回目接種を終了し8ヶ月以上経過した18歳以上の方、約2,000人を対象に集団接種を中心に実施していく。

### 「福井工業大学との連携協定」

11月11日に、人育て、ものづくりデザイン、自然環境研究、SDGs研究、伝統文化、音楽、芸術探求等での連携協定を締結。今後、教育や町づくり課題での連携を深めていく。

### 「志津原ファミリーリゾート再開発事業」

整備基本プランがまとまり、全体整備費の総額は約8億円と見積もられた。芝生広場やウッドデッキ及び駐車場の整備、テラス付きセンターハウスの建設など2.5haに及ぶ総合整備事業となる。今後、事業の展開・進捗を図るうえで、設計から施工までをトータルでマネジメントする事業者を選定するためデザインビルド方式による提案型にて事業の進展を図っていきたい。整備に対する財源の確保については約4.4億円の観光施設整備基金の活用に加え、辺地債や過疎債を国に要請していく。

## 主 事 業

(千円未満切捨て)

新型コロナウイルス感染症対応、志津原地区再開発に係る事業費を大きく増額。また、今後5年間の町の地域振興策を行う上での指針となる「持続的発展計画」も策定。

○子育て世帯への臨時特別給付金…2,200万円  
高校3年生までの子ども1人当たり10万円を現金で支給。

○コロナワクチンの追加接種 ……965万7千円  
新型コロナワクチン3回目の接種。集団接種は2月中旬から開始。

○志津原ファミリーリゾート再開発事業…5,334万2千円  
モクモクハウスの解体、大型駐車場整備に向けた河川の暗渠化を実施。

○町保有の土地・家屋の貸付に係る条例を改正  
地域課題の解決やまちの賑わい創出を目的に、無償又は低価で借受けが可能に。

○このほかに  
河川の土砂除去(177万円)、農業用水の改修(260万円)、ウッドラボの機能向上(781万円)、町営牧場での目的外使用を規制する条例改正等。

## 11月臨時会

11月30日に開催され、特別職および職員の期末手当の支給割合を引き下げる条例改正3件を審議し、全議案可決されました。

### 臨時会で提案された議案

議案第60号	池田町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正について
議案第61号	池田町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第62号	池田町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について

【審議結果】 議案第60～62号について宇野邦弘議員が反対。



## 12月定例会



## 子育て世帯への臨時特別給付金(2,200万円)など 一般会計補正予算 6,889万5千円の追加

12月14～16日の3日間にわたり開催され、計14議案を審議し、全議案可決されました。

### 定例会で提案された議案

議案第63号	令和3年度 池田町一般会計補正予算(第4号) …コロナワクチン追加接種、志津原ファミリーリゾート再開発事業の増額など5,789万5千円を追加し、予算の総額を38億6,654万9千円に
議案第64号	令和3年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) …葬祭費の増額など21万6千円を追加し、予算の総額を3億8万7千円に
議案第65号	令和3年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第3号) …人件費の増額など129万5千円を追加し、予算の総額を1億8,608万5千円に
議案第66号	令和3年度 池田町簡易水道特別会計補正予算(第2号) …水道管敷設経費の増額など908万9千円を追加し、予算の総額を3億2,667万8千円に
議案第67号	令和3年度 池田町下水道事業特別会計補正予算(第3号) …下水道管敷設経費の増額など245万2千円を追加し、予算の総額を2億2,154万円に
議案第68号	令和3年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第3号) …介護サービス給付費の増額等など804万2千円を追加し、予算の総額を4億4,599万7千円に
議案第69号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について …町が保有する土地や家屋の無償貸付などを可能とし財産の有効活用を図るための条例の改正
議案第70号	池田町過疎自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について …固定資産税の課税免除の対象となる業種の変更等が行われたことによる条例の改正
議案第71号	池田町志津原地域リゾート施設の設置及び管理条例の一部改正について …志津原ファミリーリゾート再開発事業によるマレットゴルフ場を廃止するための条例の改正
議案第72号	池田町営牧場の設置及び管理に関する条例の一部改正について …能楽の里牧場の環境維持のため目的外の使用について規制を設ける条例の改正
議案第73号	池田町食材供給施設「モクモクハウス 味な館」の設置及び管理に関する条例の廃止について …志津原ファミリーリゾート再開発事業によるモクモクハウス 味な館の取壊しに伴う条例の廃止
議案第74号	池田町過疎地域持続的発展計画の策定について …町で策定した「過疎地域持続的発展計画」について議会の議決を求めるもの
議案第75号	令和3年度 池田町一般会計補正予算(第5号) …子育て世帯への臨時特別給付金の10万円全額を現金での支給とするために1,100万円を追加し、予算の総額を38億7,754万9千円に
発議第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について …令和4年度国家予算での地方税財源の充実を求める意見書を国に提出する議員発議

【審議結果】 議案第63～75号、発議第2号について全員賛成。

# 町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

## 一般質問

### 林業の人材育成について



宇野 一正 議員

モデル林整備事業は、森林組合や林業事業者の協力を得て進めることになる事業である。現在、森林組合が受注し作業をしているが、中には池田の林業従事者は数人しかおらず、木望の森づくり100年プロジェクトを進めていく上で多方面の人材を育てていかねばならない。これから池田の森林を守っていく人材育成を外部の企業や森林組合に委託するのか、町で独自に育成していくのか。また、町に山林を寄付、長期経営委託をしてもよいとの申し出があると聞かすが、現状はどれぐらいあるのか。

木望の森づくり課長

人材育成については、木望の森づくりを進めるためのモデル林整備事業の中で、専門アドバイザー等の指導を受け実践・研究を行い、それを繰り返しながら取り組むことで、次世代に選ばれ関心を生む森づくり・山づくりを発信し、そのことで人材育成に繋がればと取り組んでいる。よって他に委託や町独自で育成するものではない。

また、山林寄付の現状は令和2年度に1名より相談をうけている。

## 一般質問



宇野 邦弘 議員

### 全国で広がり、国も特別交付税措置「福祉灯油」を池田でも実施を

ガソリンや灯油代高騰の中、全国各地で灯油代を助成する「福祉灯油」が広がっている。県内でも坂井市が助成する。(その後福井市や高浜町でも実施)

政府は、生活困窮者などに灯油購入費の助成を行う地方自治体に特別交付税措置をとることにしている。池田町は豪雪地帯であり、高

齢者の世帯も多い町。県や他市町の様子見にならず実施するように。  
保健福祉課長 国としても灯油などへの価格対策を講じており、石油価格の情勢、県や他市町の支援の状況を見極めたうえで実施すべきと考えており、現在、町としての助成は考えていない。

### 志津原再開発計画の規模縮小で計画はどう変わるのか

「道のオアシスフォーシーズンテラス整備計画」として規模縮小された志津原再開発計画では能面美術館は現在地に残すとしている。この変更は当然であり、歓迎する。当初計画の足湯とか馬車を走らせることや河川側の杉林を広葉樹に変えていくことはなくなったのか。

本議会で提案された「池田町過疎地域持続的発展計画」でも新しい冠荘をつくらせられているが、前計画通りそば道場奥ということか。過大な投資にならないように、改めて冠荘の現在の場所での改築にし、3か所もの温泉供給施設は見直すよう求めたい。

### 人材センターについて

池田にはフル、ハーフで働きたい人を斡旋する窓口が無いのが現状である。今後、志津原再開発事業やツリーピクニックアドベンチャーいけだの拡張事業が動き出すと、必然的にさらなる人手が必要になり、民間の労働力を補うためにも人材センターが必要ではないか。

農村政策課長 各商工業、農林事業の人材確保は各分野において主体性をもって積極的に検討していただき、町としては人材センターの検討はしていない。



### 上水道について

今年のような長雨が続きと志津原の取水河川で災害が起きれば取水がストップし、中地区の上水道への影響は甚大である。その影響を回避するため、水海足谷林道沿い、足羽川ダム調査ボーリングパイプから噴き出す地下水を中地区の上水道に使用することは出来ないのか。

また、角間郷地区においては例年水不足が起きやすいと聞かすが、中地区から角間郷地区へ上水道を繋いで、水が不足したときは送るようにはしたら良いのではないか。

町土整備課長 池田町簡易水道の中地区の水源は志津原地係、大黒谷の表流水を使用しており福井豪雨の時には取水口のスクリーンや進入路部のブロック積が被災した。ご指摘の水海足谷

川沿いのボーリング井戸については、温見断層の真上に調査用に掘られたものであり、今後断層を横断する導水トンネルの影響、特に水量変化が不明確であることから水道水源には不適切である。非常時には、配管が接続されている水海荒谷水源として割谷川の表流水を仮設ポンプで浄水場に供給する。角間郷地区の簡易水道については、新保、東俣、魚見の3か所に浅井戸を設置しており水不足は起きていない。中地区と角間郷地区との配管接続は既設配管の口径、高低差の問題が多いため計画していない。なお、角間郷地区においてはバックアップが取れるよう配管が接続されている。

### 冠山トンネルの掘削残土がなぜ足羽川ダム事業に使われているのか

冠山トンネルの掘削残土の一部が、足羽川ダム事業の見谷川の埋立用に運ばれておりダンプの通行も増えている。そもそも冠山トンネルの掘削残土はどれだけあり、どんな活用計画なのか。この掘削残土がなぜ、足羽川ダム事業に運ばれているのか。ダム事業に必要な骨材や土砂は、他から持ち込まないのが原則ではないか。ダムの「原石山」や水海川導水トンネルの掘削残土で足りないためか。



導水トンネルからの掘削残土

導水トンネル工事技術検討委員会の報告では、「地盤が軟弱な活断層の影響が想定より広く、このまま進めたら大量の湧水が推定され、トンネルの崩壊も懸念される」「破砕帯には溶岩も含まれ、想定した地質条件よりも悪い脆弱な区間が続いている」とし、工事進捗も一年以上遅れているとのこと。脆弱区間の掘削残土は砂状で、とても骨材や埋め立てに使えるようではないものと見受けられる。だから、藪田山から冠山トンネルの掘削残土を運んでいるのか。町としてどう把握しているのか。

同じように破砕帯があるだろう山に、さらに2本もの導水トンネルを掘る長期計画についてこの際認めないように。

町土政策課長 冠山の掘削残土は町内5か所に16万㎡仮置きされており、岐阜県側の工事に利用されることになっている。一部経済的に有利な場合は福井県側でも活用でき、旧池田分校横の造成には活用している。

全体計画で新たな導水トンネル計画は触れられていないが、現在の整備計画には記載されていないので現段階では答える立場にない。ダム事業についての技術的なことはダム対策特別委員会にて聞いてほしい。

町長 町内の公共事業の状況について詳細すべてというわけではないが担当課が把握はしている。ただ本会議で答える責任的なものを考えた時、答弁は差し控えたほうがいいと私から指示をしたのでダム対策特別委員会では聞いてほしいと考えている。

### 熊本出張について

町長の動静の新聞報道では先日2日間、熊本出張とあるが、その中身は。

町長 南阿蘇村の自然環境と観光商品と結びインフラツーリズム、インフラツアーの現場を視察してきた。インフラツアーとは学習

旅行、修学旅行と考えるといいものであり、この村は先進を走っているのだから勉強したいと視察した。

役場職員同行者は。町長 町土整備課長も同行し、意義あるものだった。

# 質 疑 応 答

委員長 宇野一正  
副委員長 松井靖明  
委員 飯田拓見  
和 田 義 則  
宇 野 邦 弘 丸 石 純 一

# 町政に問う

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

## 一般質問

### 観光統計や観光客の現状は



丸石 純一 議員

**全国観光入込客統計に基づいて調査している池田町の該当施設は何店舗で何か所になるのか。**

全国観光

入込客統計で報告する対象施設および行事は、溪流温泉冠荘、かずら橋、そばの郷池田屋、ツリービクニックアドベンチャーいけだ、まちの駅こってコテいけだ、食の文化祭、以上5つの施設および1つの催しについて行っている。

令和2年度、池田町の宿泊全施設でも宿泊客数は何人か。

農村政策課長

宿泊者数

は約6,700人。前年度と比較すると新型コロナの影響により約4,200人減少した結果となっている。

農村政策課長

現在、旅

行誌、るるる北陸版および福井版とマップル北陸版および福井版、この4誌を中心に町内の観光情報を掲載している。その効果については、近年コロナの影響により県外のお客様は全体の約2割となっているが、そのうちの

約半数の方は、このような旅行誌等を目にしてお越しいただいているとの調査結果がある。

冠山トンネルが開通することにより、揖斐川町と商工関係や、防災など、さまざまな場面で連携をしていくことが必要であると考えているが、現時点で福井県池田町と岐阜県揖斐川町をつなぐ観光ロードマップが整備されていないが、今後作成などを検討しているか。

これから令和7年に向けて観光入込客数を現状の2.5倍に増やす計画をしているが、第2期総合戦略でも触れているが、まちの個性と本質を生かす、伸ばす、伝える観光の促進のためにも、より詳しく池田町に係る観光客の現状を知っていく必要があると思うが、所見を伺う。

農村政策課長

観光協会

が、毎月、19の事業所から観光統計調査を行っている。内容としては、どちらからお越しただいていいのか、売り上げはどうかであったか、町内の情報は何かから得ているのか、またお客様の感想などである。

農村政策課長

観光協会

このようなデータおよびご意見は、今後の観光事業の推進に活用して参りたいと考えている。

### 町内の介護タクシーも利用者増大傾向

丸石議員

ふくタク事業

について利用者15%増とのことだが、今現在、町外から介護タクシー事業者が入ってきているのか。

保健福祉課長

現在、町

外の事業者についてはふくタク事業の対象としていない。



### 「財産の交換譲与、無償貸付等に関する条例」の一部改正するのはなぜ

宇野邦弘議員

今回の改

正は具体的な事例やプランがあつてのものか。

総務財政課長

具体的な

事例としては、今年の秋に、町所有空き家である富田家と谷崎家を対象に空き家活用プロジェクトを実施し活用者を募集した結果、富田家について、古民家1棟貸し事業の実施を希望する事業者があり、現在、町の審査および地元区への説明を終えている。今回の条例が採択

総務財政課長

具体的な

されれば、町と本契約を結び具体的に事業を進展していく予定である。

飯田議員

町が町有財産

を無償譲渡する規定は整理されているのか。

副町長

今回は、町の

普通財産の無償での貸付に関する規定を整備した。今後、譲渡となる場合には改めて今回提案した条例の改正を議会にお諮りすることになる。

### マイナンバーカードの取得率は

松井議員

池田町にお

けるマイナンバーカード取得率は目標70%のところ74%の実績ということで、全国的にも高い取得率ではないか。

住民税務課長

最新(12

月)の総務省のデータによると、全国の町村では6位、すべての自治体では12位となっている。

本集計はカードの交付率によっているので、最終的には順位はもう少し上がるのではと思う。

### コロナワクチン3回目の接種対応は

和田議員

3回目の集団ワ

クチン接種でファイザー社製とモデルナ社製を選べるのか。

保健福祉課長

モデルナワ

クチンが交互接種にて使用できるかどうかについては現在、国において審査中である。現在、池田町では約1,000人分のファイザー製ワクチンを保管しているが、今後の供給については現時点で国の見通しが立っていない状況。

また、1、2回目を大規模

接種会場でモデルナ製を接種された方もあることからモデルナ製ワクチンの供給も受けて接種できる体制を整えている。

松井議員

池田町にお

いてはスマホによるワクチンパスポートの連携は可能となっているのか。

保健福祉課長

システム

は12月20日から連携が可能となると聞いている。池田町においてもマイナンバーと接



\*「池田町地方創生総合戦略」より出典

# 質疑応答

委員長 佐野和彦  
委員 岩崎昭一 宇野一正  
副委員長 丸石純一  
委員 宇野邦弘 松井靖明

## 志津原再開発(道のオアシス)

**宇野邦弘議員** 道のオアシスの事業規模が縮小したことは、身の丈にあった整備となり良いと思う。以前の計画書では、ふれあい橋付近も事業計画地となっていたが今回は事業計画地の色塗りがされていないが、整備地からは離れたのか。それに伴い広葉樹林帯の整備もなくなってしまったのか。

**農村政策課長** 大がかりな工事を伴うような特別な工事ではなく、眺望がよくなるよう周囲の木々の間伐を実施する程度の整備であるため、今回の図面では色塗りがしていない。

**宇野一正議員** 令和5年度をめどに整備するとのことですが、発注にも時間的余裕がないと思うが、河川暗渠化や駐車場整備なども含めた一体的発注とするのか。また、現在生えている桜の木はどうするのか。移設するのか。

**農村政策課長** 現在、テラス自体も貸し出す方向で考えている。また、テラスには簡単なテントを張れる構造を考えており、ゆっくりと滞在いただけるものと考えている。

**佐野議員** この整備計画の運営面は詰めてあるのか。

**農村政策課長** 検討段階ではあるが、キッチンカーとの連携や、芝生広場ではゆっくりしていただけるテントの設置を考えている。また、山あいの町で緑が広がる景観も楽しんでいただけるような施設設計となるようにしたいと考えている。

**佐野議員** 今後、今回の計画が大幅に変わることはあるのか。

**農村政策課長** 事業は公募によるデザインビルド方式で行うため、様々な視点で提案いただく予定である。より良いものを整備する観点から今回の図面と比較すると変更する可能性はあるが、基本的な部分は変わらない。



道のオアシス 整備予定地

## 岩崎議員 (意見)

整備後の管理がかなり大変な印象を受けた。特に芝生については池田の気候状況から大変管理が難しいと思うし、年々見た目が汚くもなってしまう。また、管理不行き届きで雑草が生えてきてはいけなとも思う。どれくらい費用が必要かも含めて管理面の検討もしていただきたい。

## 佐野議員 (意見)

T P A や冠荘裏の駐車場も活用することではあったが、駐車場が64台というのは小さいのではないかと現状、土日となるとかなりの人が池田へ来ているし、特に夏場の川遊びには結構な人がいる。また、冠山トンネル開通により中京圏の来客が増えることを見越すと小さいと思う。せっかく来た人が駐車場がいっぱいで通過してしまおうというようにならないかという検討いただきたい。

## 新保スキー場

**丸石議員** 新保ファミリースキー場については、今シーズンは町主体で行いレストランは開かないとのことである。レストラン、レンタルについては黒字であったと思うが、レストランを営業しないと決



めたのはどうしてか。レストランが従業員の昼食の役割も担っていた部分もある。

## 農村政策課長

レストランについては人員、収益性の面から課題があると聞いている。今回、鍵を始めて利用できないということではなく、休憩所として多くのお客様が利用できるようにする予定。

## 能楽の里牧場の管理運営

**宇野邦弘議員** 牧場の目的外使用については町長の許可がいるということで、牧場の辺りからラジコングラブライナーを使用することも許可の対象となるのか。

**副町長** 牧場での畜産や農業振興に資するもの以外は含まれているので、そのような(グラブライナー)行為も目的外使用に入ってくる。

**佐野議員** 牧場の土地は町有地であるのか。

**副町長** 現状、畜産農家の減少はあるが、繁殖という畜産の中の一形態は重要だと認識しているので今後も粘り強く考えていきたい。

## 木望の森づくり課長補佐

大半は水海区の生産森林組合の所有で、2筆の町有地がある。平成2年に町と水海区と無償の賃貸契約を結び、牧場の敷地として借りている。

**丸石議員** 能楽の里牧場については、今後どのようにしていくのか。

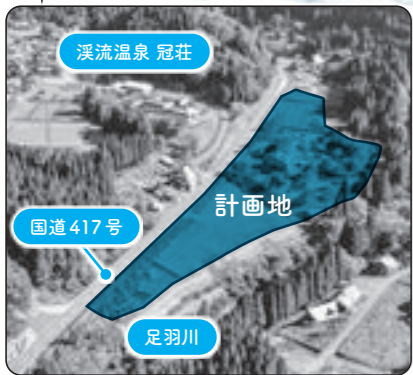
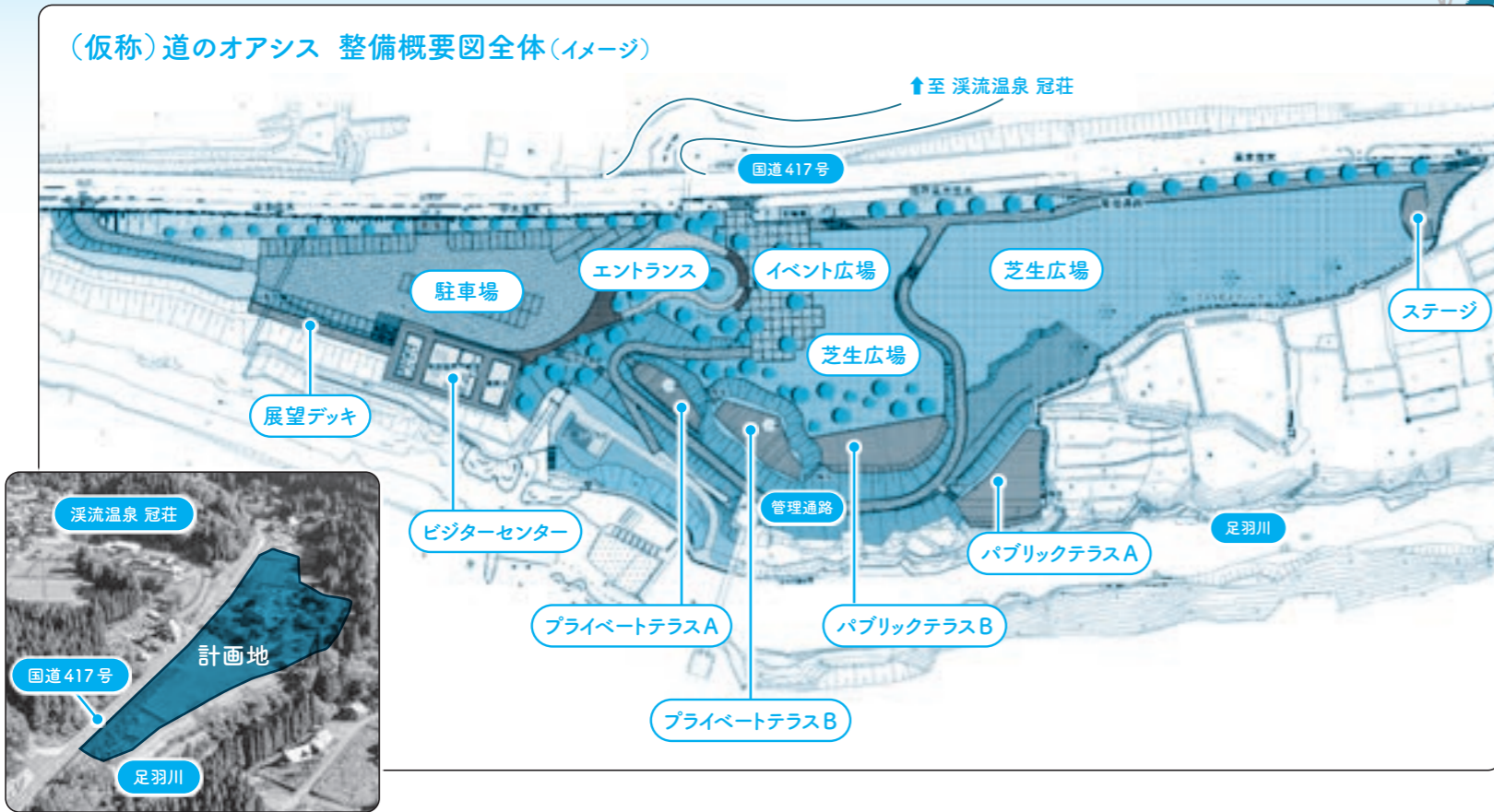
**副町長** 現状、畜産農家の減少はあるが、繁殖という畜産の中の一形態は重要だと認識しているので今後も粘り強く考えていきたい。

## 佐野議員 (意見)

牧場周辺には、山登り、ピクニック的に訪れている方も多くいる。観光資源としても大変価値があるところだと思ふ。トイレぐらいは開けておいてもいいのではないかと、畜産だけというのではなく、その他の活用も含めた検討もいのではないかとと思う。



(仮称)道のオアシス 整備概要図全体(イメージ)



# 岐阜県揖斐川町議会

## 2年ぶりの行政交流会開催



新型コロナウイルスの影響で中断していた揖斐川町議会との行政交流会が2年ぶりに開催されました。この行政交流会は旧徳山村の時から始まり旧藤橋村、揖斐川町と合併後も続いています。

今回は令和5年度開通の冠山峠道路について、国土交通省福井河川国道事務所の説明を受け、今後の事業推進について意見交換を行いました。その後、町内の各施設を視察しました。揖斐川町議会の皆さんは、「池田町のまちづくりは参考になるところがたくさんある」と熱心に視察されていきました。



冠山峠道路事業説明及び意見交換会



あそびハウス視察



ジップライン視察



### 編集後記



広報特別委員会に携わり、12回目の発行となりました。開かれた議会を目指し、議会だよりでは理事者側との議論の過程をお知らせし、町民の皆様と行政の町づくりを指せるように、頑張りたいと思います。また昨年は、皆様におかれましても、コロナ禍の影響で大変な一年だったとお察しいたします。今年は一転して、皆様にとって良い年でありますように心からお祈り申し上げます。(丸石純一)



### 表紙の写真

4年ぶりに営業を再開した新保ファミリースキー場には地元の人々が驚くほど正月から多くの人で賑わいました。今季の営業では、コロナ禍の影響によりレジャーのあり方が大きく変化していく中で、今後のスキー場の運営を検証していく目的もあります。

議 長	発行責任者	委員	委員	委員	副委員長	委員長
		飯田拓見	松井靖明	宇野邦弘	佐野和彦	宇野一正